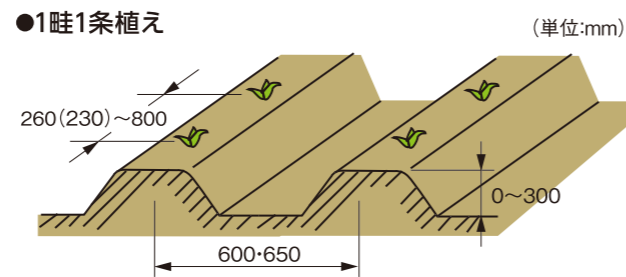
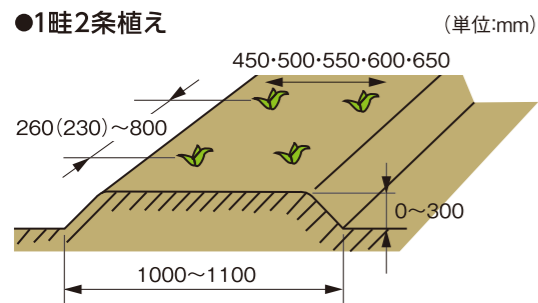


■ 主要諸元

名称		ヤンマー乗用全自動野菜移植機			
販売型式名		PW20R			
区分		A	SA	RSA	SRSA
駆動方式		4輪駆動			
機体寸法	全長 (mm)	3160			
	全幅 (mm)	1835(予備苗台収納時 1725)			
	全高 (mm)	1925(予備苗台収納時 2225)			
	最低地上高 (mm)	365			
機体質量(重量) (kg)		639			604
型式名		GB400			
種類		空冷4サイクルガソリンエンジン			
エンジン	総排気量 (L(cc))	0.391 {391}			
	定格出力/回転速度 (kW(PS)/rpm)	5.8(7.9)/3000			
	最大出力 (kW(PS))	9.5(12.9)			
	燃料タンク容量 (L)	12			
始動方式		セルスタート式			
かじ取り方式		前輪操舵(パワステ)			
車輪	前輪 (mm)	ノーパンクタイヤ Φ600×90			
	後輪 (mm)	φ850×190(AG)			φ850×90(RS)
トレッド	前輪 (mm)	1200・1270			
	後輪 (mm)	1200・1320			1200・1270・1320
変速段数 (段)		前進2・後進1(HMT)			
走行部	前進1 (m/s)	0～0.50(0～0.45)			
	前進2 (m/s)	0～2.50			
	後進 (m/s)	0～0.81			
作業クラッチ		1回転クラッチ			
車体制御	昇降	油圧自動追従式			
	水平	-			
速度設定レバー(最高速度規制)		低・中・高(3段)			
速度固定レバー		固定・解除			
植付条数 (条)		2			
植付条間 (mm)		450・500・550・600・650(5段)			
植付株間	株間切替えレバー-S位置 (mm)	260～500	230～430	260～500	230～430
	株間切替えレバー-L位置 (mm)	430～800	430～800	430～800	430～800
昇降制御		油圧自動追従式			
植付深さ調節 (段)		10段×ピン2段(ワンレバー)			
適応うね高さ (mm)		0～300			
苗搭載枚数 (枚)		16(苗のせ台:4・予備苗台:12)			
適応作物		キャベツ・はくさい・ブロッコリー			
適応トレイ(※1)		30角-128穴・25角-200穴(農水省規格)			
作業能率 (時/10a)		0.6～0.9(S仕様:0.7～1.0)			
型式名		Z0011			
安全性検査合格番号		NARO 20/177			

※農水省規格トレイ(ヤンマー純正トレイ)以外のトレイは、植付作業に支障をきたす場合があります。

■ うね形状



※2畦整形機でのうね立てを推奨します。
※()内は短株間(S仕様)です。

ヤンマーアグリ株式会社

〒702-8515 岡山県岡山市中区江並428
yanmar.com

⚠ 安全に関するご注意

- ご使用の際は、取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- 無理な運転は商品の寿命を縮め、故障・事故の原因となることがあります。
- 故障・事故を未然に防止するため、定期点検は必ずおこなってください。
- 保証書は、ご購入の取扱い店で必ずお受け取りください。

商品についてのご意見、ご質問は下記へ

このカタログの仕様は、改良などにより、予告なく変更することがあります。

2022年4月作成 01114-J00821 2204®



YANMAR

乗用全自動野菜移植機

PW20R, A Series

1畦1条(同時2条)植え・1畦2条植え



高速対応の
「乗用」全自動
野菜移植機

「歩く作業」から「乗る作業」へ！ 歩行型に比べ、約2倍の高効率で 大幅な省力化を実現。

作業はトレイを補給するだけの乗用全自動で、規模拡大・コスト低減に貢献。
走行は乗用車感覚の丸ハンドルとペダル変速でスムーズ操作。
一度乗ったら手放せない
乗用全自動野菜移植機です。



作業の動画が
ご覧になれます。
※動画は旧型機です。



国内3次排ガス自主規制対応エンジン搭載

PW20R,A(標準仕様) / **PW20R,SA**(短株間仕様)

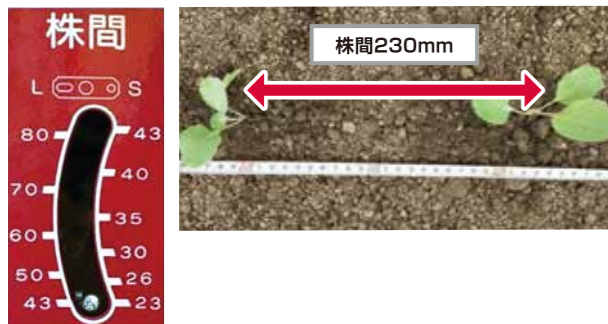
PW20R,RSA(RS仕様)

PW20R,SRSA(短株間・RS仕様)

1畦1条(同時2条)植え・1畦2条植え

■ 短株間仕様

新短株間機構を搭載。230mmを設定できるので、キャベツをはじめとする中小玉野菜への栽培体系に対応します。



■ RS仕様

後輪が車輪幅90mmのため、狭い溝幅でもうねを崩しません。



移植作業を大幅に効率化。



野菜トレイをセットするだけの 全自動同時2条植え。

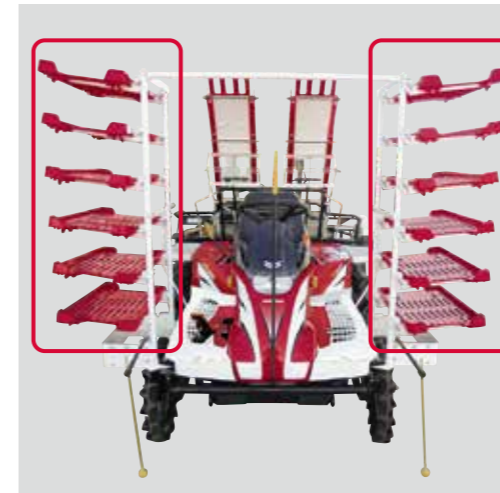
歩行型全自動野菜移植機の約2倍の高効率作業
でキレイに植付けができます。
しかも乗用型なので作業者の疲労も大幅に軽減
されます。



連続作業で能率アップ。

苗つぎ回数を少なくするため、野菜トレイは苗のせ台に4枚、予備苗台に12枚の合計16枚積載できます。

※空トレイは、予備苗台を折りたたむことで収納可能です。



センサー

センサーが苗つぎのタイミングを感知し、
警報ブザーでお知らせ。
トレイのセット忘れによる欠株の心配が
ありません。

簡単操作に安心感をプラス。



最適速度をそのままキープ。低速時でもペダルの踏み込み調節が不要。

使いやすくなった新機構！

■ 速度固定機構

最適速度をそのままキープ。作業時にペダルを踏み続ける必要がなく、作業が楽になり疲れを低減します。



■ 速度設定機能

ペダルをいっぱい踏み込んだときの最高速度の上限を3段階で設定できるので、ペダルでの微調整が不要です。



速度設定レバー位置	使用する場面
高	・通常の植付作業 ・移動時(植付クラッチを切ると、速度が2倍になる)
中	・旋回スペースの狭いほ場等での植付作業 (植付クラッチを切ると、少し速度が上がる)
低	・ゆっくり状態を見ながらの植付作業 ・ほ場の出入りやトラックへの積み・降ろし

両手はハンドル操作、足はペダル、前を向いたまま作業に集中。

■ ペダル変速e-move

ペダルの踏み具合だけで発進・停止・加減速ができるので、両手でハンドルを握り、前を向いたまま安心して作業ができます。

■ クラッチ・ブレーキ連動

ペダルでクラッチ・ブレーキが連動して作動。苗つぎ時の煩雑な操作がありません。

■ 車速を変えても株間は一定

植付機構と車速が連動しているため、車速が変わっても株間の間隔は一定に保つことができます。



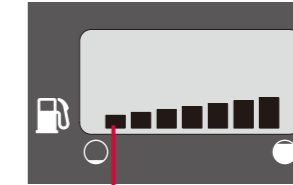
使用時間や燃料残量を確認できる。

ハンドルコラムの液晶パネルに、燃料の残量がひと目でわかる燃料計とアワーメータを表示します。



① 燃料計

燃料の補給時期がわかり、作業中の燃料切れを防ぐことができます。



燃料の残量が少なくなると、左端のバーが点滅。

② アワーメータ

定期点検の時期を把握でき、適切なメンテナンスを行うことができます。



積算使用時間(エンジン稼働時間)を、1/10時間まで表示(0.1時間は6分)。

旋回がラク。

■ 植付昇降レバー

旋回時は、植付操作と昇降操作がワンレバーで簡単に行えます。



トレイに合わせてノンツールで簡単切り替え。

■ 横送り切替レバー&縦送り切替レバー

野菜トレイに合わせて、横送り・縦送り切替えがワンタッチ、ノンツールで行えます。



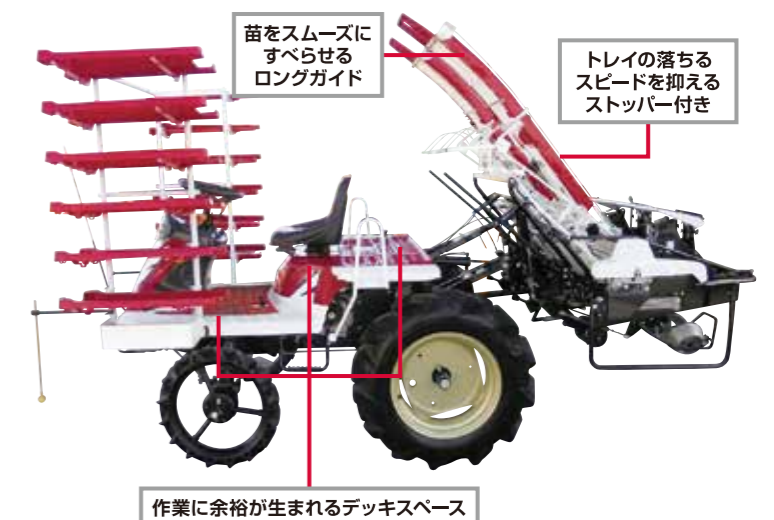
苗補給が簡単に、トレイ送しもスムーズに。

■ フラット&ワイドデッキ

足場が広く、余裕をもって苗つぎが行えます。

■ ロングガイド

トレイをすべらせるだけで簡単に苗を補給できます。



高精度植付けで、高品質な野菜づくり。

うね・溝どちらの凹凸にもスムーズに追従。

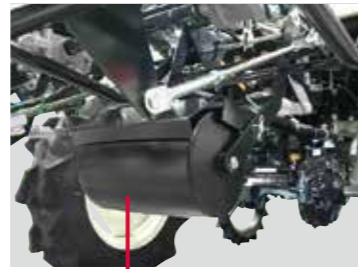
■ 自動植深さ制御 (ピッチングセンサ機構)

大きなうね溝の凹凸やうね高さの変化に追従し、植付深さを一定に保ちます。

■ 左右独立植付フローティング機構

小さなうね高さの変化や左右で違ううね高さに追従し、植付深さを一定に保ちます。

2つの追従機能が同時に、左右独立して働くことにより、植付深さを常に精度良く一定に保つことができます。

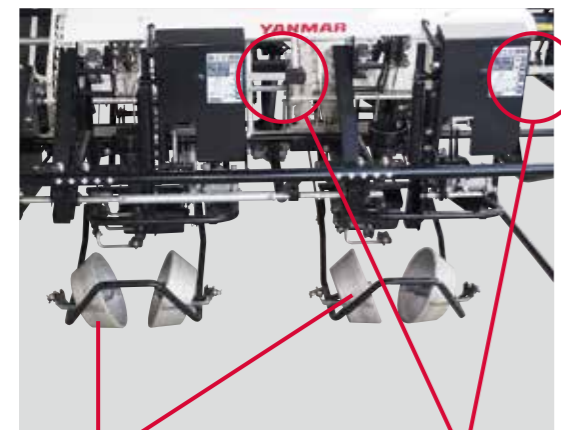


ピッチングセンサ機構

ローラ荷重は土の状態に合わせて3段階に調節できます。
(センサーローラへの土の付着を防止するスクレーパ付き。)



左右独立植付フローティング機構



覆土ローラ

覆土圧調節レバー

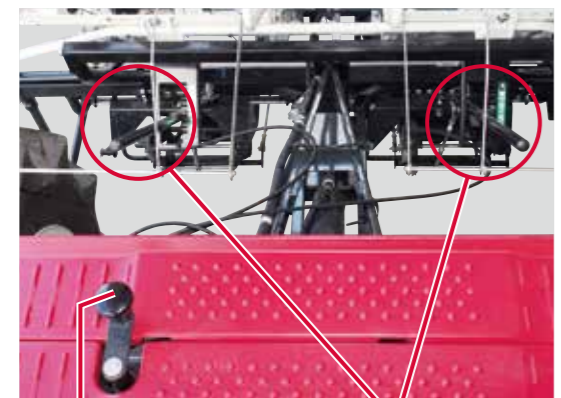
移植後の活着が良い。

■ アルミ製覆土ローラ

- 植付けと同時に苗の株元を鎮圧。苗をまっすぐ植えるとともに、根鉢と土を密着させることで、活着が良くなり、初期生育の安定が図れます。
- 土離れが良く耐久性に優れた「アルミ製ローラ」です。
- ローラの間隔は土壌条件に応じて3段階に調節できます。
- 覆土ローラの圧力は、ほ場条件に合わせてレバー1本で5段階×2(パネの掛替え)に調節できます。



覆土圧調節レバー



株間調節ハンドル

植付深さ調節レバー

260~800mmまで、無段階に調節できます。

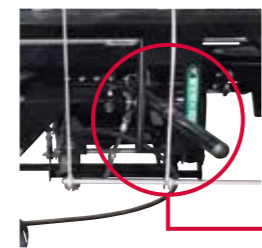
※短株間仕様は230~430mm

植付深さを10段階に調節できます。

作物に応じて株間・植付深さ調節が簡単にできる。

■ 株間調節ハンドル&植付深さ調節レバー

作物に応じた株間の選択や、ほ場の条件に応じた植付深さが、運転席から降りずに簡単に調節できます。



植付深さ調節レバー

植付株間	A・RSA仕様	260~800mm
	SA・SRSA仕様	230~800mm
植付深さ	10段階×ピン2段(ワンレバー)	

日常点検はしっかり、簡単。

1 バッテリーの点検

ボンネットが取り外せ、バッテリーのチェックが簡単です。



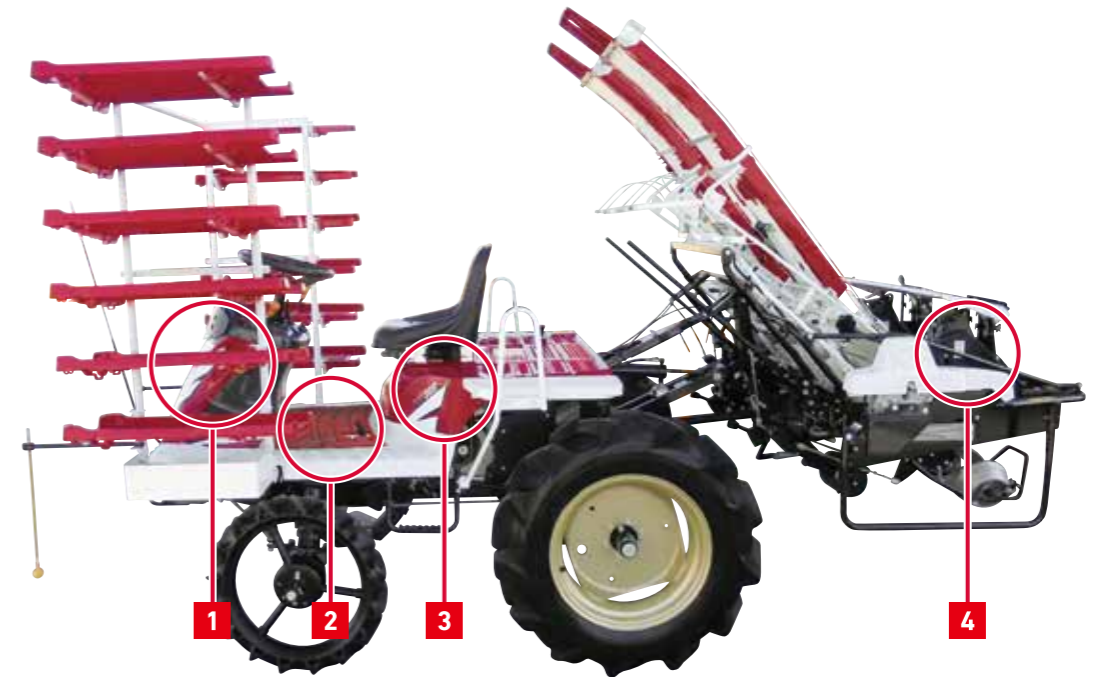
2 フロア下部点検部

ミッションオイルの点検や操作ロッドの調節が、ステップを外さずに行えます。



3 エンジン点検窓

座席下のステップが取り外せ、エアクリーナやエンジンオイルの点検が容易にできます。



ランニングコストが低減する新機構!

4 植付部位相調節機構

長期間使用によるチェーンの伸びで発生する、左右の苗取爪の位相のずれをチェーンを交換することなく調節できる機構です。修理時間の短縮やランニングコストが低減できます。



位相調節用のフランジ

いたずらや盗難を防止。

■ 個別キー

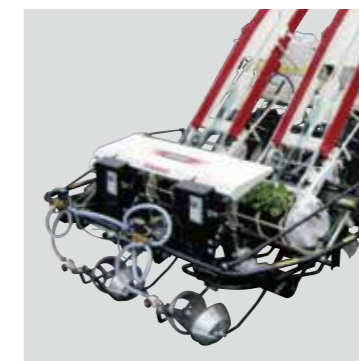
1台ごとに異なるキーを使用しているため、安心です。



充実のオプション。

名称(コードNo.・型式)	備考
① かん水装置 (KS2L-PF2R,BAA)	20Lポリタンク×2個付き。
② 20kgウエイト (1TS100-01001)	4個まで搭載できます。
③ バックミラー (7C1310-99100)	
④ ホイールKIT (PF2R,RS) (7C1310-99200)	標準仕様の後輪タイヤをRS車輪に変更するキット。

①かん水装置



④ホイールKIT(PF2R,RS)

